（第二刊）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十八年七月十三日（火曜日） 臺灣日日新報 第一万五千五百七十五號 （夕）（一）

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

東條首相東京に歸着
泰、南方出張の目的達成

【東京電話】南太平洋の戰局一段と苛烈なる秋東條首相兼陸相は佐藤陸軍省軍務局長、山本大東亞次官以下の隨員を帶同六月卅日東京を發し遠く南方に出張、昭南、タイを始めマライ、スマトラ、ジャワ、比島等我が軍政下南方の第一線各地を隈なく視察し並びに我が出先官民と懇談、その勞苦を犒ふと共に大東亞戰爭に協力する南方原住民の現狀を視察し益々大東亞戰爭完遂への必成に邁進する決意を固め多大の成果を收めて十二日午後十三日振りで歸京した、即ち東條首相は三日先づ佛印サイゴンに立寄り現地陸海軍最高指揮官より佛印の現狀を聽取した後友邦タイ國の首都バンコクに入り同地に二泊四日ピブン首相と會見日泰共同作戰遂行の方途に關し完全なる意見の一致を見て新に英領マライ四州のタイ國編入を確約せる共同聲明を發表、次いで五日新生昭南に入り南方軍總司令官寺内元帥と會見軍狀並びに軍政狀況を聽取すると共に南方軍將兵の勞苦を犒ひ更にインド獨立聯盟總裁チャンドラ・ボース氏並びにビルマ行政長官バー・モウ博士と會談インド獨立達成のため武器をとつて蹶起せるインド國民軍の軍容を閲兵、これを激勵、翌六日スマトラ、ジャワ、ボルネオに赴き軍政及び軍政狀況を視察、ジャガルタに於いては原住民の熱狂的大歡迎を受け[illegible]會に臨席、原住民代表と會談、[illegible]比島を訪れバルガス行政長官、ラウレル獨立準備委員長等と會談した[illegible]民の狀況を視察これを激勵、並に十一日[illegible]に至る南方出張の全日程を終了歸還した、首相今次の南方出張は大東亞戰爭完遂に邁進する大東亞民族の結束を更に鞏固化すると共に南太平洋方面に於ける戰局の重大化に對應する大東亞決戰の態勢に巨歩を進めたものとしてその政治的意義は極めて重大である、而して新に行はれた中國、滿洲國、比島の訪問に引き續き今次の南方訪問[illegible]帝國と共に大東亞各國家民族に徹底せしめられたと共に首相の現地視察は愈々大東亞戰爭完遂への決意と確信を固め[illegible]から今後の決戰態勢については期待されるもの極めて大である首相歸京に際し情報局は次の如く發表した

情報局發表（七月十二日午後三時十五分） 東條內閣總理大臣兼陸軍大臣は泰國及び南方諸地域に出張中の所目的を達成し本日午後三時十五分東京に歸着せり

ジャカルタに到着
原住民歡喜に湧立つ

【ジャカルタ十二日發同盟】南方視察中の東條首相は七日ジャカルタに到着した、共榮圏最南端のジャワ島に歴史的第一歩を印した首相は佐藤陸軍軍務局長、山本大東亞次官、上村外務省政務局長以下を帶同して到着直ちに最高指揮官と固い握手を交し出迎への官民、軍政監部各部局長、駐屯部隊長、海軍武官、ソロ侯、ジョクジャ侯其の他土侯並びに總務局長官「ソロ」「ジョクジャ」「スラカルタ」の地事務局長、在留邦人代表、原住民代表等に挨拶の後最高指揮官官邸へ向つた「われらの父來たる」五千萬原住民の待ち焦がれた東條首相が苛烈な大戰爭遂行の最中に赤道を越えてジャワに現はれたのだ、我の東條首相のインドネシヤ人政治參與聲明、更に七月一日の原住民官吏制度の發表に感謝と感激に湧き立つ原住民の歡喜は爆發した、日毎に日章旗を掲げた市民は沿道に溢れ男女[illegible]午前八時、中央、[illegible]學生生徒四萬が手に手に日章旗の小旗を振り其の他にぎつしり詰めかけた數萬の市民の眞心々々の歡迎は怒濤の如くに湧き立つ中を東條首相は同十二時「ガンビール」廣場北側最高指揮官官邸に入つたが少憩の後同官邸で原田最高指揮官から軍政狀況を聽取し種々懇談を終つた

東條首相再び訪比 寫眞はバルガス長官と握手する東條首相【宇野マニラ支局長發】

十日マニラに到着
獨立準備委員招致 比島獨立に付要談

【マニラ支局十一日發】昭南よりの歸途十日空路比島に向つた東條首相は同日午後二時二十分[illegible]田最高指揮官並に比島側要人のさかんなる出迎へを受けてマニラ市に到着、直ちにマニラホテルに入つたが午後は黑田最高指揮官と懇談會ののち同四時よりマニラホテルに獨立準備委員を招致、比島獨立に關する懇談を遂げた

【マニラ十二日發同盟】東條首相は十日山本大東亞次官、佐藤軍務局長以下隨員を帶同マニラに到着、出迎への黑田最高指揮官始め村田最高顧問、軍政監、總務長官、バルガス行政府長官並びに比島獨立準備委員會委員等と挨拶を交し沿道に堵列し出迎へる市民の歡呼の中を直ちにマニラホテルに入つた

比島出發歸國

【マニラ十二日發同盟】十日再び比島を訪問、黑田比島方面最高指揮官始め比島獨立準備委員と懇談を遂げた東條首相は十一日午前[illegible]最高指揮官、總務長官、行政府長官等多數の見送りを受け一路歸國の途についた

欣快・獨立準備進捗
首相挨拶

【マニラ十二日發同盟】東條首相は十日午後四時より四十分間に亙りマニラホテルにおいて比島獨立準備委員會委員と懇談會を催うして懇談した、席上ラウレル委員長、[illegible]委員も列席、獨立への熱意[illegible]意見の交換を遂げた、同席上東條首相は次の如き挨拶を行つた

東條首相挨拶要旨 既に比島獨立準備委員會の成立を見且つ着々と活潑に獨立準備の進捗を見つつあるは本官の最も欣快に堪へざるところであり、更に茲に委員の諸君とここに再び懇談するを得たるは本官の極めて滿足とするところである、比島獨立準備委員諸君の熱心なる努力により速かに準備を整へられ全比島民衆一致協力して大東亞共榮圏の一員たる新比島建設に將た又大東亞戰爭の完遂に邁往せられんことを衷心より切望して止まざる次第である

ラウレル委員長答辭要旨 本日東條總理大臣閣下を再びこの地に迎へ御懇談に接したことはわれ〳〵の最も欣快とするところであり、比島獨立準備委員會の委員は全比島民より選ばれたる有識なる人士であつて必らずや所期の目的を達成することを確信するものである、比島の獨立許與に對し私は衷心より感謝するものであり、この私の感謝の心は比島千八百萬の民衆の心であるのみならず、多年に亙る米英の[illegible]より解放せられる大東亞民族の感謝の心である、この上は全比島民を擧げて新比島の建設に邁進すると共に大東亞戰爭の完遂に最善の努力を致すの覺悟であることを誓ふものである

全比島の意氣昂揚

【マニラ支局十一日發】去る臨時議會に於ける比島今年中獨立の東條聲明は一千八百萬比島同胞に民族的世紀の感激を與へたものであるが半世紀比島獨立多年の熱望志士が血に血を繼いで叫び來つた獨立が「今年中」に確約されたことは永年[illegible]に弄ばれてゐた比島人にとつて最高最大の歡であつたと言ひ得よう、加へてその東條首相が去る五月六日と、このたびと前後相通じて二回に亙り親しく比島を訪れたといふことは日本に對する信頼感、ひいては彼等自發の一大蹶起を最も端的に促進する大きな契機となつたであらう、このたびの首相訪比は僅か二日にしか過ぎなかつたが、今獨立準備委員會が組織され着々獨立のその日に備へようとしてゐる秋、東條首相が公務多端な中を再度來訪し[illegible]

獨立達成、完戰に協力
ラ、バ兩氏決意を開陳

【マニラ十二日發同盟】東條首相閣下の比島來訪は獨立を目前に控へ着々獨立の準備を進めつつある獨立準備委員會を始め比島國民は愈々その建設決意を強固にしてゐる、ラウレル獨立準備委員長、バルガス行政府長官は首相閣下の來訪に際し夫々左の如き所感を發表、獨立獲得、大東亞戰爭完遂の決意を闡明してゐる

△ラウレル獨立準備委員長 今回再び東條首相閣下の御來訪に接したことはその意義極めて重大である、比島民は首相の御來訪によりその多年の熱望たる獨立の榮譽に浴することが出來た譯である、而して獨立準備委員會の任務遂行は着々敏速に展開しており既に六分科委員會の決定を見て目下夫々の部門において着々たる準備を進めてゐる狀態である、首相の第二回比島御來訪は獨立準備委員會の活動に際しよき出發を與へると共に獨立に直面する一千八百萬比島民に對し新たなる刺戟を與へるものである

△バルガス行政府長官 東條首相閣下の劃期的第二回比島御來訪並に比島獨立準備委員との歴史的會見は比島の獨立準備に對し絶大なる激勵を與へられた、この機會に際し比島民衆指導者層は日本により付與さるべき獨立の光榮に應へるべく最大の努力を盡すべき決意を愈々强固にするものである、比島民は東條首相閣下が第一回比島訪問により御闡明遊ばされたる寛大なる自由の約束に對し常に感謝して已まぬものである、比島民は今や大東亞戰爭の赫々たる完遂途上にある日本に對し更に協力を深めるの決意を固めんとするものである

ジャワの使命重大
首相挨拶

【ジャカルタ十二日發同盟】東條首相は七日午後四時半ガンビール廣場における原住民歡迎大會に臨み參集せる十萬の原住民に左の如き挨拶を述べ多大の感銘を與へた、挨拶要旨次の通り

諸君は大東亞戰爭開始以來よく今次征戰の意義に徹し一切の困難を克服して心より皇軍に協力し新ジャワ建設に鋭意邁進して來た、これに對し余はかねがね感謝してゐたが本日その實情の一端に觸れ更に感謝を新たにした次第である、インドネシア人もインド人もその外大東亞の諸地域にある各住民は悉く一大家族である、而して帝國は開闢以來培ひ來れる大東亞における必勝の態勢の下に大東亞各國家各民族の中核となつてこれ等大家族を米英蘭の桎梏より解放する大戰爭を戰つてゐるのである、余は中華民國、滿洲國、比島、タイ國ついでこの南方地域に足を踏み入れ益々大東亞戰爭必勝大東亞建設の確信を强固にするを得たのである、この必勝必成の信念をもつて帝國は益々決意を新たにして米英蘭擊碎の一路に[illegible]はジャワは今次大東亞戰爭において最も重要な位置を占め諸君の奮起如何は戰局の上に重大なる影響を齎らすものである、余は茲に帝國議會において特に本年中に能ふ限り速かにジャワの原住民に對し政治參與に關する措置をとるべき旨を宣言したのである、余は諸君がよろしく帝國の精神を體し現地軍の指導の下に協力一心政治、經濟、文化を擧げて大東亞戰爭完遂の一路に邁進、新ジャワの建設に全民衆打つて一丸となり渾身の努力を致さんことを切望して止まない

再びトンキン州盲爆

【ハノイ十二日發同盟】去る十一日午前の空襲につぎ同日午後も在支米空軍がトンキン州に空襲したが右に關し佛印當局は十二日午前七時左の如く公表した

十日午後トンキン州は再度空襲を受けハイフオン及ホンゲイ地區が爆擊された、十日午前午後の空爆により原住民間に、二十一名の死者、約四十名の負傷者を生じたり

戰力增強へ總力結集
滅私敢鬪の決意昂揚
皇奉參與、委員會議終る

皇奉第四回中央參與、委員會は午前に引續き午後一時半から府正廳で續開された、午前と同じく食糧增産關係の諮問事項の答申をなし川上八百藏氏（臺南）吉岡濟一氏（臺北）中辻長司氏（臺南）羅萬俥氏（臺中）松尾繁治氏（高雄）の各氏が次々と熱烈な意見を述べ方途につき具體的な意見を述べ滿場に多大の感銘を與へた、かくて松尾氏の答申を最後に口頭答申を打ち切り[illegible]により午前中[illegible]によつて可決した皇民滅私敢鬪決議文案が出來上つたとて文案を朗讀し加藤參事これを讀み上げれば滿場割れるやうな拍手を以て可決、次いで須田殖産局長より總督府の食糧增産への施策や方針につき說明、また中平食糧局長より米穀納入組合について說明[illegible]取扱機關であるとの諒解を一層また西村文教局長より從來の食糧增産への協力の行き方につき說明、學徒を動員して集團的增産を斷行してゐる旨を明かにし、また婦人動員に對する方針を說明、次で山下國土局長代理より國土局關係の土地改良工事水利施設等の事項につき一應の說明あつて十分間休憩ののち再開、[illegible]荒木正太郎氏（臺北）發言を求め決戰生活實踐が愈々急務となつて來たのに鑑み全島民滅私敢鬪の決意を披瀝するため決議を行ひたい、決議文の起草委員は議長の指名に一任するとて滿場[illegible]たる中に[illegible]決議文の緊急動議を提出し、議長これを議場に諮れば全員起立してこれを可決、荒木正太郎、林田正治、[illegible]、山本[illegible]、陳[illegible]、陳[illegible]、[illegible]の七氏を起草委員に指名、起草委員退出して別室で決議文を起草する、かくて諮問事項第二 生活必需物資の配給に關し[illegible]見を陳述して答申となし、その間滅私敢鬪決議文起草委員荒木正太郎氏より滅私敢鬪決議文が出來上つたとて讀み上げ全會一致の拍手裡に異議なく可決、また各委員の答申に對し須田殖産、中平食糧局長より夫々生活必需物資や食糧品の適正配給につき總督府の施策や今後實施すべき方策について詳細な說明をなし最後に總務長官起つて長時間に亙つてしかも暑熱の中を終始眞摯な態度で答申をお願ひしましたが今後の皇奉運動推進に少からず寄與するものがあると思ふ、口頭答申になつた各事項は勿論書面で答申を願つた各事項についても十分な研究と檢討を加へ總裁の指示を仰いで總督府へ上申すべく考慮し、また皇奉直接關係ある事項は皇奉として萬全な措置をとりたいと挨拶を述べ、終つて臨監本部長の發聲で萬歲を奉唱し必勝增産へ、必勝生活の確立への決意も新たに起ふ意氣を中外に[illegible]後六時半閉會した

滅私敢鬪決議文

現在の大東亞戰爭は所謂長い物に捲かれるか或は然らずして銳利なる刃は、遂に長い物を寸斷し去るかの岐路にある苛烈なる不斷の大格鬪であつて、一分一秒の油斷を容さぬ、吾等は本日の中央參與、委員會に臨み、愈々決戰增産並に決戰生活實踐の急務なるを痛感し益々私を滅して公に奉ずるの決意を新にした、依て茲に滅私敢鬪の決意を披瀝し以て決議とする

昭和十八年七月十二日

皇民奉公會中央參與委員會

皇軍への感謝電文

本日皇民奉公會中央參與委員會を開くに當り、閣下並に御麾下將兵各位の御健鬪を感謝し併せて御武運の益々長久ならんことを祈り上ぐ、今や全島民の熾烈なる敵愾心と敢鬪精神とは大東亞戰爭を必勝に導かねば已まざる概あり御安心を願ふ

中央參與委員會議長 齋藤 樹

主要食糧品の增産 實踐方策答申內容

諮問事項第一 主要食糧品の增産に就て協力すべき實踐方策を諮ふに對する各參與委員の答申內容（午後の分）

川上八百藏氏（臺南委員）耕地整理は北部は徹底し居るも南部は粗放なるに付是正を要する、鐵道沿線空地を徹底的に利用せよ、休耕期間の利用を策せよ、耕地に對する地主のよりよき關心を要求する、また肥料の配給問題として一方自給肥料の奬勵を徹底せよ、その他の方策として魚類の科學的研究をなし、鮮魚の供給を圖れ、國民學校の必須科目として農業科を加へ增産の基地たらしめよ、更に勿體ない運動を徹底し增産に寄與せしめては如何

吉岡濟一氏（臺北委員）農村生産協力會を設置し左記の事項を實行しては如何

一、農民道場を建設し農民精神を鼓吹すると共に一般にもラジオ、新聞、パンフレットを通じ農民精神を喚起せしめよ

二、增産從事農家の保護、窮民の救助、陋習の改善、夜業の指導をなせ

三、優秀農村青年を內地へ派し、皇國農民道の眞髓を把握せしめ[illegible]

二、施設事項の實踐 [illegible]

四、[illegible]農村指導者たらしめよ

五、增産の敵たる有害鳥獸驅除賞金を以て一般島民に捕殺せしめよ

六、除草等の勤勞奉仕に島民を參加せしめよ

七、農閑期に食糧增産日を設け、[illegible]

八、畦畔及び家庭[illegible]の休閑地に[illegible]、その種子の購入資金[illegible]、栽培方法の指導講習を實施せよ

中辻長司氏（臺南委員）一、國民志氣の昂揚 指導者層の國家的自覺の喚起—大小指導者の別なく、國體の本義に徹し、生産增强の熱烈なる意欲を起し、率先垂範の要がある 農民の國體精神の昂揚徹底—[illegible]の認識の下に、各自の職責に於て[illegible]、困苦缺乏に堪へる强靭の錬成と、農民精神の[illegible]に努むること[illegible]

羅萬俥氏（臺中委員）[illegible]

松尾繁治氏（高雄委員）[illegible]肥料工場の新增設をなし、肥料政策を[illegible]確立すること、有畜農業を徹底的に獎勵すること、大いに自給肥料の增産を計ること、[illegible]ついては非農家と雖もこれに協力せしむること、農村の勞力不足を補ふ爲、婦女子の農業勞働を[illegible]獎勵すること

生活必需物資配給 改善方策答申內容

諮問事項第二 生活必需物資の配給に關し改善を要すべき具體的實踐方策を諮ふに對する各參與委員の答申內容は左記の如し

大森茂氏（高雄委員）農民及勞働者又は中等以上の家庭に米（又は雜穀）の增配を考慮されたい、人頭割又は戶數割による配給制を廢し、生活程度を基準とする配給制の實施を行ふと、また民需の配給を圓滑ならしめる爲め、州、市、街庄に各配給委員會を設置し、物資の配給に當ること、配給區域を擴大すること、各地域別に所有品の交換等を斡旋すること、自由時代に於ける無益なる物資浪費の思想を打破し、戰時生活を確立すること、配給事務の簡素化を計る一方配給業務從事者、有産階級、指導層等の率先なる垂範を要請したい

井田憲次氏（臺北委員）生活必需物資の增産と圓滑なる流通を圖る機關を設立せよ、配給機關の手數料を低率にし必需物資の供出を圖れ、木炭其他林産物生産從事者の食糧不足を考慮し代用食の配給策を講ぜられたい

食糧增產、物資配給
具體的實踐方策の答申

第四回中央參與委員會は決戰下の現時局最も重大なる主要食糧の增産及び生活必需物資の配給の二點を諮問事項として既報の通り十二日府正廳に於て開催された、六百五十萬島民の熱烈なる意見を代表して上申する本會議は全島民の期待を裏切らず苛烈なる戰局に即應る眞劍なる態度、熱烈なる決戰意識に相應しい具體的答申が行はれ大東亞戰完遂に「戰ふ臺灣一家」の烈々たる熱意と決意とを具現したのであつた、主要食糧の增産生活必需物資の配給に民間人の智能なる經驗、或は研究、希望を聽いて食糧增産の實踐方策乃至は生必物資の配給改善に寄與すると共に政府の之等に對する意向を闡明し島民の積極的協力態勢を强化せんとする皇民奉公會の趣旨、以て各參與、委員より陳べられた處は熱心なる意見を答申に依つて綜合して見ると大體左の如き方向を示し、非常に注目すべき點が多くあつた

一、食糧增産に就て

食糧增産對策として一番多く叫ばれたのは山地、空閑地の活用を先頭に皇國農民道の操作及び婦女子動員は最近の趨勢を示して居るものであり之と共に自給肥料や堆肥等の獎勵など肥料對策が强調され其の他水利施設の增設青年團等の協力等いづれも五六人以上から述べられた、而して今回特に注目すべき點は小自作農の創設、農村健全經營、[illegible]指導者等が之又いづれも五人以上の人々から主張された事である以上の外增産方策として地主の動員、官有地の處分譲付防止、先覺者の營農垂範、農産物公定價格の再檢討[illegible]部落又は集團を單位とせる運營[illegible]等が掲げられその實踐方策に就いて夫々具體的な意見の開陳があり食糧增産に對する積極的な島民の協力態勢、燃え上る熱意が遺憾なく示された

二、生活必需物資の配給改善

生必物資の配給は全島民の關心の的だけに可成り多くに亙つた具體的な意見が開陳されたが一番多かつた現配給機構の整備は配給機構を一元化せよ、或は手續を簡素化せよ配給を迅速にせよと言ふ程度でこれと言ふ[illegible]つた新構想は無かつたが、之と關聯して配給制度の刷新、隣組單位の配給、配給委員制度の設置等がいづれも七、八人から述べられた、次いで[illegible]物資を[illegible]せよとの聲も非常に多く中間搾取機關の排除、公定價格の適正化、消費者組合の刷新、配給擔當者の指導等の要望も强く又生必物資の市街庄割、地方ブロックの排除の要望もあつた、配給基準は如何にすべきかは一律主義か生活、文化程度によるべきかは參與、委員の間でも意見を異にし決定の困難さをあらはして居たが、生活、文化程度等を考慮せよとの聲が强く[illegible]せよとの意見は島民の[illegible]いたものとして注目された[illegible]

けふの官報 ▲告示 [illegible] ▲公告 [illegible]

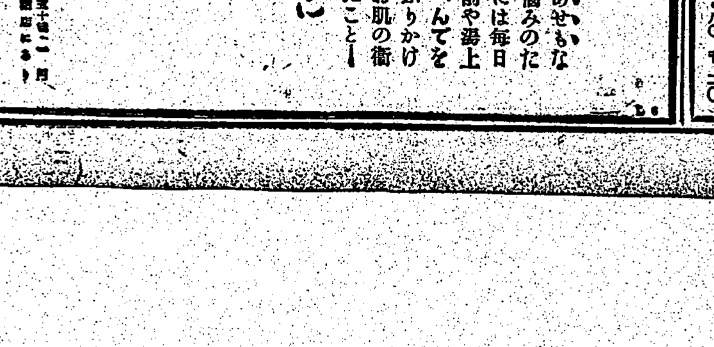
來襲敵機十二擊墜
コロンバンガラ、ムンダ方面

【〇〇基地十二日發同盟】コロンバンガラ、ムンダ方面における敵の空襲は極めて熾烈でその來襲機數は八日約七十機、九日七十機、十日約百機を數へ何れも戰爆連合の編隊である、これに對しわが陸上部隊はこれ等の敵大編隊を邀擊地上火器に依り八日コロンバンガラにおいては九機、十日にはムンダにおいて三機擊墜した、わが方の損害は輕微である、この間わが航空部隊もニュージョージア、レンドバ島、ルビアナ島並びにクラ灣方面にある敵陣地に猛襲を加へ敵地上部隊に致命的打擊を與へてゐる

貯蓄總進軍
富國徵兵

天中軒雲月
サヨンの鐘
村上元三原作・中川明德脚色
映畫になつたリヨーヘン社の乙女サヨンの物語り
大陸の歌
ビクターレコード

夏の足のらへんでん 衞生に
水むし あせも ただれ 湿疹 きず 股臭症
水むし、あせもなど…夏の悩みのたね…これには毎日お出かけ前や湯上り後にらへんでをたつぷりふりかけて、足とお肌の衞生を忘れぬこと—



中央公論社新刊
東京驛前丸ビル五階・振替東京三四番
非常時立法考 牧野英一著 價二・四〇 〒一五
生物體の機構 小泉丹著 價一・三〇 〒一五
現代物理學の基礎理論 石原純著 價一・三〇 〒一五
言葉の文化 長谷川如是閑著 價二・五〇 〒一五
明治の哲學界 桑木嚴翼著 價一・六〇 〒一五
老妓抄（重版） 岡本かの子著 價一・八〇 〒一〇
歲事記（重版） 森田たま著 價二・五〇 〒一〇
文章往來（重版） 宇野浩二著 價二・五〇 〒一〇
文學の卅年（重版） 宇野浩二著 價二・八〇 〒一〇

第一書房
齋藤茂吉著 小歌論
下村湖人著 若き建設者
大川周明著 大東亞秩序建設
高階順治著 日本精神哲學論攷
奧田準一著 幼兒の言葉
得能文著 哲學講話
大島豊譯 シュトレムベルク 宇宙の精神
堀口大學譯 アナトオル・フランス フランスの天才達
大田黒元雄譯 シュウベルト傳
御註文は必ず御近所の書店へ

最新刊 "部數限定"申込は速急書店へ
西アジア民族史 東洋民族史叢書第一卷 内藤智秀著 價三・〇〇 〒一五
佐久間象山の人と思想 金子富之助著
ソヴエト統制經濟論 上・下完結 竹尾弌著 價各二・八〇 〒一五
新作長篇小說
ビルマの朝 神山潤著 價一・八〇 〒一五
風眠る 福田定吉著
風童京に還る 龍膽寺雄著 價二・三〇 〒一五
ムッソリーニの伊太利人 M・カルリー著 價二・〇〇 〒一五
株式會社 今日の問題社
東京都芝區田村町四ノ一八 振替東京八四七九五

〈社説〉

興廢の岐路に米英も必死

亞歐の兩戰線に苛烈の反撃

食糧增產對處方策

須田殖產局長說明す

十二日府正廳に開かれた第四回皇奉中央參與委員會に於いて各委員の答申に次いで須田殖產及中平食糧兩局長から食糧增產當面の問題に就いて左の如き說明が加へられ總督府の意圖が闡明された

自作農 の創設に關する

有畜農業 の獎勵に就

就中

甘藷 に就いても

第二年

納入組合の整備と供出問題への措置

食糧局長談

農耕

肥料

誤解

供出

皇國

飼料製造業者追加

企業整備對策協議

全島關係官打合會

鐵工業統制會委員會の構成と當面の課題

一、生產分野劃定委員會

二、資材委員會

三、勞務委員會

四、價格委員會

五、技術委員會

ボルネオの原住民

日常語は「日本語」で

いぢらしい協力ぶり

本島で鯉の大增產

養殖池の立體活用攻究

臺灣磚茶會社設立の趣旨

一期作米の初檢查終了近し

〈決戰〉

伐採と共に造林

（臺北・大平生）

海南島に多數の虱目魚

調查班に凱歌

外貨債借換條件

告示

臨時移出入品調整規則改正

臺北各銀行の預金激增す

臺灣花王有機

先づ食油製造

更に擴充計畫

泰に還るケランタン

國民防空科學

糧食と體位

高志書房

不動產金融

日本勸業銀行

臺北・新竹・臺中・臺南・高雄

星錨印吹奏樂器

精神武裝に吹奏樂

ブラスバンド・ラッパ鼓隊

ヨグラ樂器製作所

特種動物ホルモン精膽藥

心臟・胸・胃の抗病ホルモンを增强する

救心

朝夕一粒

救心本舖

かぜねつ頭痛に

ネッサル

惠の玉

女性の

試藥進呈

生理不順・白帶・下腹腹痛・內膜炎など

滿映・松竹映畫主題歌

サヨンの歌

なつかしの蕃社

サヨンの鐘

ニッチク

あせも毒虫たゞれ怪我

夏季！特に多い皮ふ疾患にオゾは

とても重要です

オゾ

オゾ本舖　都南莊

【マニラ支局十一日發】

全比島感謝の雄叫び

獨立の生みの親東條首相を再度迎へ

今日の映畫

國報

戰時だ働かう

冷症・神經痛・ロイマチス

各種皮膚病・温泉風呂に

全比島感謝の雄叫び

獨立の生みの親 東條首相を再度迎へ

【マニラ支局十一日發】その日マニラのなばきのふの雨もカラリとやんで南國特有のあの突きみたいなチギレ雲がちよつぴり向ふの方にかかつただけで快い青天井だ、

"獨立がくる" "獨立が來る"——その昔比のよろこびに二千萬比島の同胞が曾つてない興奮にうちふるへてゐる秋、この前迎へた東亞の宰相、あの東條さんをふたたびここに迎へるのだもの どれ程、マニラのいや全比島の人たちがその感激に陶醉しようだつたことか！それは比島の人たちばかりではない、そのよろこびは、邦人はともにまた在比日本人にとつても相共通する感激であつた、過去幾百年といふものを血で血をうづつて來た比島の獨立闘爭である、それが今年の何月かに現實に於て結實する、それも東條さんの確乎たる聲明によつてはじめてもたらされたのだ、新生獨立比島生みの親、その東條さんが昨春議會で「近き將來に於て」と聲明してからちようど一年半ばかり、その間に新しいヒリツピンはこんなに成長した

アメリカ的惡 の中から飛び上つて今東亞民族に更生された新生比島だ……政治に精神に經濟にとあらゆる部面に亙つて更生したヒリツピンである「よくやつたぞ、しつかりやるんだ」と、この前五月の六日に始めて比島を訪問したとき東條さんはさう言つて比島を賞めて激勵した、そしてそのとき「最も速かなる時期に於て」と、東條さんは近いヒリツピンの獨立を明示したのである、このあたり比島の獨立を現地で直接東條さんの口から聞き得た比島のそのときの歡びは表白のすべもなかつたほどであつた、そして今次の臨時議會に於ては

『今年中に——』 獨立を許容すると東條さんの口から比島獨立の約束が中外に聲明されたのだ、その折、跳び上つて驚いてあわてたのはただに米英や英東の暗黒時代ばかりではない、比島人も驚いた、わが比島人が驚いたといふのは「最も速かなる時期」が「今年」であつたからで、その驚きは[illegible]のソレでなく「歡喜の最高潮」——即の意味である、だから"東條さんは比島生みの親"——だと比島同胞の誰もが、おろかなほどに東條さんをさう思つてゐる、そして今、比島は獨立の頂點に高しく感謝してゐるのだそのさ中にこのたびの東條さん[illegible]臣の莅比である、首相が第一回に渡比してから丁度二箇月目——この日の比島民衆の感激が正に最高潮に達したのも當然である

新比島史の 一頁にあらず[illegible]十日その日黒田最高指揮官をはじめ軍首脳部や、バロンタガログに正裝した比島側要人が出迎へにギツシリと整列した、空港からマニラホテルに至るその長い沿道には[illegible]何萬の民衆が日の丸を手にして溢れるよろこびを胸いつぱいに待ち構へた、そしてカツキリ十一時二十分……第二次莅比の足をふみ入れた東條さんの姿が見えた、瞬間に數多くの[illegible]が光つてゐる、ニコ〳〵と[illegible]片手にあの戰鬪帽をほほゑましながら東條さんの英姿が[illegible]に迫る、東條さんはゆるりと歡迎の列に歩みよつた……『マブーハイ』と快活にほほえんで黒田最高指揮官の歡迎に應へる、それから出迎への比島要人たちに一々握手と握手の歡迎を交した東條さん——大東亞を一つに[illegible]

再度比島に 訪れた東條さん——「獨立今年」をついこのまへ中外に聲明した東條さん——比島生みの親——その東條さんの巨歩はかくて喜びこの日に印されたのである

[illegible]る、五分許り[illegible]に小休後、十一時三十分[illegible]先驅の大に首相の乘車、黒田最高指揮官[illegible]といつた順序で列は歡迎に湧きかへるマニラの市中に入る、"バンザーイ" "マブハーイ"天を衝く歡呼の聲、歡迎の旗、旗、旗[illegible]……沿道の民衆の叫びがマニラの町を壓する[illegible]それはこの日の"民族の叫び"だ、"獨立へ！獨立へ！"と民族の悲願が日熱し一つに燃焼してゐる最中、[illegible]の生みの親、東條首相が一度ならず二度までもこの地に親しく英姿を見せたのだ、

民族感謝の 叫びが比島に[illegible]かりは狂熱的な渦に見えたのもさこそとうなづけるのだ、車上からやさしく笑みを湛へ歡聲に應へて行く大東亞の宰相東條さんの姿が[illegible]民族の中を大東亞ロードから市廳前を經て宿舍マラカニアンに入るまでこの日、歡聲の叫びは天をも[illegible]とよめきつづいたのである

到るところで接した 頼もしい風景、氣魄

高橋大將記者團に語る

本島各市に於て時局講演行脚中の元聯合艦隊司令長官高橋大將は十二日午後二時より市公會堂において南進學徒のための特別講演會を終へて直ちに總督官邸に赴き、旅途挨拶のため長谷川總督を訪問、懇談を遂げた後、午前の記者團を引見、別室において左の如く『臺灣を巡りて』の感想を述べた

◇…總督府の招きに依り各都市で時局講演をなし到るところ非常に熱心に聽いて呉れて實に嬉しかつた、と同時に各地方の人々が決戰段階に即し職域奉公に邁進し米英撃滅の一點に精進して戰力増強に邁進しつつあるを見て心强く感じた、高雄方面では南方に近接しただけに工業の規模は特に素晴しく、施政も活發に行はれ、あらゆる施設計畫も大規模で高雄の將來は目に見えるものがある、臺灣の國防上における重要性がこれに依つてはつきり判り、日本南進基地としての重要性の一端を知ることが出來る

◇…阿里山の伐材現場を見てゐる最中、非常な勢ひで落ちた七百五十年位の大きな檜が鐵道線路上に横はり、[illegible]を張いたが山林戰士の總動員で一日でかかる仕事を僅か一時間位で切り除け、たうとう目の前に文字通りの敢闘を見せ思はず實力を發揮したのでその効で時間通りに下山したことは忘れられない、途中で北斗に在る總督府拓士道場を視たが、これは内臺人半數の訓練生を入れて國家の要請する南進戰士を訓練養成してゐる、道場長以下職員が同學に指導をやつてゐる、内地人の訓練生は殆んど内地の日本青年協會において錬成選出したもので、同道場は同協會と深い關係がある、南進戰士を養成することは絶對必要なのでこの道場の發展擴充を是非とも企圖しなければならない

◇…新高港の計畫は實に大で前小林總督の熱意がいよ〳〵花を咲き、實を結びつつあり、資材の關係で豫定通りに運ばれないが一日も早く完成されんことを希つてやまない、基隆、高雄のみでは基地としての使命を全的に遂行されないので新高港の完成は焦眉の急務だ、大甲溪電源開發は現長谷川總督の努力に依り着々進捗され、增田臺電社長の說明で大體の計畫を知つた、臺灣の底力を發揮するにはこの電源開發が絶對必要である、新竹の天然瓦斯研究所を見、同所の研究成果は見るべきものがある、南方に油が多いし石炭液化などん〳〵やつてゐるのを見て天然瓦斯の重要性を認めさせるものがあるにしもあらず、[illegible]南方の生產だけでは[illegible]大東亞圏の需要を充すことは困難であるから、天然瓦斯は重要なる使命を帶びてゐる

◇…今日臺北において中等五年生以上百門、大學の學生に大東亞戰爭と必勝の信念を題して講演したが、皆非常に熱心に聽き、その態度は實に立派であつた、[illegible]は若き青年學徒の責任重大[illegible]であつた、諸君は決戰下の學徒としての自覺に立ち[illegible]内地人を問はず全力を擧げて[illegible]に邁進してゐる生活に[illegible]決戰下の學徒の使命を[illegible]と述べた、各

◇…[illegible]國民も一層決戰下[illegible]

"お召し"に備へよ

南進學徒に諄々說く

臨ふ全島民の士氣昂揚と時局認識に資するため來臺中の高橋三吉大將は十二日午後二時から特に南方共榮圏建設の尖兵たる南進學徒のために臺北市公會堂で「大東亞戰爭と必勝信念」と題する講演を行つた

銃後國民は一勝一敗、一箇所の勝敗等の戰果の可否によつて心を動搖させるやうでは絶對ならぬ、この大東亞共榮圏建設の大使命のためには前線、銃後のへだてなく必勝の信念を堅持しなければならぬ、この必勝の信念とは古來の日本精神をもつて各自の立場、立場に全力を盡し將來の自己一人の立身、榮與にこだはらず、帝國國民に一點の私心なく盡すことである、若き學徒等は一日一日の勤勞精勵に全念を盡し何時お召しがあらうとも…と云ふ確固たる信念を肚の中に植えつけること、これがすなはち必勝の信念である、帝國海軍を見よ、上は司令長官から下は一水兵にいたるまで『大君のため』…この目的をもつて私心をすてて平時、戰時のへだてなく今日までの成長を遂げ世界無敵の現在の海軍を創りあげたのである、今次大東亞戰は大東亞建立の雄大な圏であり、若き學徒に期待するところは非常に大なるものがある

と熱烈にあふれる若き學徒に多大な感銘を與へ午後四時感銘裡に會を終つた（寫眞は講演會場と講演する高橋大將—上—）

堀田中佐喝破

わが思ふ壺、米の反攻

決戰樣相と勝利への道

【大阪電話】大本營陸軍報道部長堀田吉明中佐は十一日午後六時から中之島公會堂における大日本產業報國會主催の「米英撃滅決戰勤勞總蹶起特別大講演會」に臨み「決戰の樣相と勝利への道」と題して大要左の如く熱辯を揮ひ聽衆に深い感銘を與へた

大東亞戰爭勃發後總反攻の年と定めた一九四四年を總反攻の年と定め軍需生產の擴張に狂奔して來たがその後の世界戰局は彼の希望通りには進まず

總反攻 の年たる四四年までアリューシャン、ミッドウエー、豪洲等の太平洋戰線基地の確保を期し續く支那にあつて蔣介石の對日抗戰、インドの抗戰、歐洲ではソ聯の對獨講和等一連の思惑を續くに至り反樞軸の生產力が頂點に達した今

この時逸すべからずと本年を決戰の年と決定したのである、[illegible]に敗れて孤島として孤立した英米は漸く軌道に乘り生產力は正にその頂點に達した感が深く、さてこそ世界の各戰線の兵力輸送を行はんとしてゐるのであるが一方國內の[illegible]に敵側は生じこれが[illegible]に支障して早くも生產力低下の兆が見えて來た、斯かる敵米英の現狀に對し我國は沿々と戰爭體制を樹立し國內の生產機構を急速に擴充して必勝體制を整へてゐる、日本の[illegible]は偉大なる大作戰によつて南方資源を確保した日本は[illegible]

三方の 敵米英蔣介石各個の戰力を制壓し今や敵の戰略態勢を確立したのである、その大作戰はその後の確固たる生產擴充と兵站基地と第一線の三つの力の相乘積である、特に飛行機の威力は絶大なるものがある、太平洋上の決戰は航空戰で大勢が決まると言つてよい、此年頃アメリカ紙の報ずる所によればB19のブリスベーンからサンフランシスコまで一萬二千キロの試驗飛行に三十六時間十分で成功したとのことである 多少割引して考へるとしても飛行機の性能は日に日に進んでゐるのは事實だ、それ故各國は飛行機の研究に懸命な努力を拂つてゐる、同機が爆彈を積み無着陸で七千キロ、或は八千キロ飛ぶとすればミッドウエーから東京を爆擊しての往復が出來ることは常に警戒しなければならぬ、この飛行機性能の日進月歩に鑑み本土の防空は一瞬も忽せに出來ない

爆擊に 遭つても生產機構がびくともしない防空體制を整へねばならぬ、次に歐洲の戰局を見るとドイツは三方米英ソの三國と戰つてゐる、戰略戰の[illegible]を得て勝たねばならぬ、そのため今ドイツは[illegible]そのままと戰法をとり英米は一應そのままとして一ぱい努力のあるソ聯に向つてゐる時である、ソ聯の戰力の[illegible]

戰況を[illegible]しその後反撃して米英に向ふものと見られる、從つて

地中海 の敵々や歐洲大陸の突端に多少の波瀾はあらうが心配するには及ばないと思ふ、今アメリカは[illegible]を打開してゐるが南太平洋方面に於けるアメリカの攻勢も日本の思ふ壺で引寄せて置いて大決戰で叩きたい

[illegible]絶好の機會である、日本は太平洋に確固たる基地を持つてをり絶對不敗の態勢にあることは勿論であるから國民は[illegible]しめず悠々たる氣持をもつて戰況に對し正に[illegible]生產増強に一路邁進して戰ひたい

初めて識る皇軍の強さ

歸還義勇隊員座談會（一）

晴れの凱旋をなした第一回高砂義勇隊の武勳赫々たる解隊式を前に午前十一時より州廳工業會議室に於て枝元隊長始め隊員を招んで中村、小野兩府理事官、末松理事官[illegible]臨席の上座談會を開催、中村理事官の司會にて左の如く血湧き肉躍る戰話が繰りひろげられ午後一時散會した

中村理事官 諸君は前線に從軍して來られ嬉しかつた事や苦しかつた事等を遠慮なく話して貰ひたい

枝元隊長 遠慮なく話をせよ

山下次郎君（屏東郡） 昨年の春生きて歸らじと勇躍出征しましたが、此度に無事歸還出來ました事は銃後の皆樣から武運を祈つて戴いた御蔭です昨年の〇月〇日バタアン半島、コレヒドールに挺身隊となり枝元隊長と共に出動いて來たのであります、バタアンはアメリカ第一の要塞で敵の彈丸が雨と來ましたが敵彈と共に負けずに一生懸命やりました、高い山が[illegible]山あつて非常に困難でありましたが十四、五日の間に占領しました、續いてコレヒドール攻略に挺身隊から十九名が參加して五月五日午前三時敵前上陸を敢行しました、幸に一日で陷落したのです、自分は今まで日本が強いとは思つてゐましたがどれ位強いのか判りませんでしたが今度の戰爭で日本軍は實に強い、世界第一だとはつきり判りました、〇〇に敵前上陸致しましたが自分の部隊は船が破壞しましたが上官の命令がないと[illegible]はボートに乘つてはいけないと云はれて船の火災の消火に努めました

た、敵機は[illegible]をやりましたが自分達は無事に上陸が出來たのです、朝敵の[illegible]を[illegible]しつつ[illegible]を[illegible]やりました、〇〇近くの高い山のところまで來ましたが毎日雨ばかり續いて、しかも敵機の襲撃や又は砲彈が一齊に射擊をやり出しました敵は我に十倍する兵力でしかも必死は困難の[illegible]を固れ困りましたがわれ〳〵義勇隊は皇軍と共に肉彈で突擊をやりました一週間以上も[illegible]がなかつた[illegible]敵陣の[illegible]を[illegible]ちつて進みました、まだ〳〵[illegible]

池澤武光（[illegible]郡） 私共はこれからです、第二回、三回と自分は義勇隊を志願して戰友の仇をとりたいと念じてゐます、内地人は自分達と違つて山の方は慣れてゐませんから是非ともわれら高砂族を深山へ使つて頂きたいと思ひます、

バタアンコレヒドール作戰に參加して後、選ばれて南方戰線に轉戰したが最初は何處へ行くのやらさつぱり判らず高里の[illegible]を乘り越えて何時しか南方最前線に出て〇月〇日〇〇に入港した此時敵機が三機わが船の上を南へ飛び去つたかと思ふ間もなくボーイングが幾機か飛來してわれわれの船にも爆彈の雨を降らせたが高射砲隊の必中砲火によつて敵機はたちまち一機撃墜され、煙をふきつつ[illegible]に墜落した、しかし〇〇に上陸するや敵機は大編隊を以てわが軍の

上空に飛び來り、[illegible]射擊[illegible]たために[illegible]わが方は相當の死傷者を出し、[illegible]も少なからず[illegible]つたが斯る[illegible]にあつても[illegible]を[illegible]しつつ敵陣を[illegible]した[illegible]が[illegible]けた[illegible]する[illegible]の時わが義勇隊は[illegible]と共に[illegible]

共は〇〇日夕方〇〇に乘つて本隊を追つて〇〇に向ひ工兵と共に道路建設に[illegible]工事に從事し且つ[illegible]したが〇〇に至る[illegible]川[illegible]の[illegible]を突破して[illegible]し[illegible]たが目的地を[illegible]の向ふにみて[illegible]つた、この間[illegible]木の[illegible]をかぢりつつ[illegible]の雨に降られては高山に[illegible]り落れた木の葉を[illegible]たが、つひにはマラリア、赤痢に[illegible]は兵力が[illegible]つつあつたので〇〇に引返へす[illegible]あり、[illegible]からも[illegible]の勞苦は[illegible]けられた、[illegible]するものがある、[illegible]ならでは出來ない[illegible]

中村理事官 [illegible]

池澤武光君 [illegible]

歸還の高砂義勇隊

きのふ晴れの解隊式

【〇〇電話】南方最前線で敵陣に一[illegible]を[illegible]の武勳を[illegible]した第一[illegible]は十二日午後一時二十分[illegible]工業[illegible]、[illegible]、中村、小野[illegible]參列[illegible]

遺骨凱旋

【〇〇電話】比島攻略戰を經て南方最前線で[illegible]に[illegible]ちて[illegible]

大きくなつたら きつと海軍さんだ

ヨイコはつらつ海に鍛ふ

◇…海に鍛へるヨイコドもその[illegible]部—盛夏季に入つて臺都國民[illegible]

[illegible]校の臨海教室が十二日から淡水海水浴場で始まつた、第一陣は末廣國民學校四年生以上のヨイコドモ[illegible]二泊三日の樂しい[illegible]である、[illegible]日本[illegible]を吹きつけてゐる[illegible]い米英どもを[illegible]、敵の潛水艦と戰ひながら[illegible]しく祖國のために活躍する[illegible]さんが乘り切つてゐる荒海、四面海もて圍まれた日本の國民にとつて一時も海を忘れることは出來ないのだ、ボクたちもワタシたちも海をおそれてはならない、ひと度怒れば見上ぐるばかりの巨濤を[illegible]の葉のやうに翻弄する[illegible]しく[illegible]も、一[illegible]凪ぎ[illegible]ろにすべてのものを包容して慈父の如く、われ等を[illegible]鍛へて呉れる

◇…さきまく組、ワタシ達も大らかな海の懷ろに抱かれて心ゆくまでからだを鍛へ、海に親しみそして大きくなつたら[illegible]を背負つて[illegible]に生きるのだ"と[illegible]への憧れを[illegible]いつぱいにふくら

ませた六日のヨイコドモ[illegible]は市[illegible]校長[illegible]先生、[illegible]も[illegible]付添はれて午前十一時[illegible]淡水海水浴場に到着、午後一時から開所式を行ひ、一同待ちかねたやうに一時から早速三班に分れて海に飛び込んだ

まだ泳げない[illegible]は先生の熱心な指導で早く泳げるやうにと一生懸命、二時間の水泳訓練でどの子もみんな[illegible]になつてゐた

◇…この日[illegible]は小宮山[illegible]

を[illegible]し、[illegible]式に參列した[illegible]これからの日本の子供は海に親しみ[illegible]を深くして心身を鍛へて强い子供にならなくてはならない、日本の國は周圍を海に圍まれ、國威を輝かすにはどうしてもあの廣い海洋を乘り切らねばならないのだ、海を忘れてゐてはこれから發展することは出來ない、皆さんも大いに海に[illegible]へ、立派な身體となつて大きくなつたら[illegible]に負けぬやうに祖國のために[illegible]して下さい

と[illegible]しく[illegible]したが、今日の[illegible]れる[illegible]か[illegible]の海は一朝[illegible]に[illegible]を[illegible]、海は[illegible]い[illegible]に[illegible]を[illegible]なければ[illegible]はならない、海の[illegible]は[illegible]な[illegible]に親しむ[illegible]へが大切だ

上[illegible]したが[illegible]したから行くのではなくして心から行くといふ心構へが絶對必要なのだ、常に海に親しむことである、海を忘れれば[illegible]はすぐ〳〵忘れる、海に[illegible]は人間を可愛

に[illegible]した[illegible]をまかしたまイコドモを[illegible]い[illegible]つた[illegible]を次の[illegible]に語るのだつた

◇…一[illegible]君 僕は大きくなつたらきつと海軍さんになりますきのふ[illegible]の大[illegible]を聞くたびに僕たちは本當にじつとしてをられない位です

◇…[illegible]君 一度[illegible]に乘つて海を渡つたことがありますがそのときはなんて海は廣いのだらうと思ひました、しかし僕達は海を忘れてはならないと思ひます

◇…大[illegible]さん はじめは海を見るとこわくて入りたくありませんでしたが、大東亞戰爭がはじまつてからは海がどんなにわが國にとつて大きな役目を持つてゐるかが判りました、そして何時どんな[illegible]が起るか知れないのですからワタシ達も海を恐れず泳ぎもしつかり練習して强い日本の女になりたいと思つてゐます

◇…吉野みな子さん 昨年海水浴に來てから大分泳げるやうになりましたそれから海に來るのが樂しくてなりません、ワタシが男だつたら海軍に志願するのにと何時も考へます、これからはもつと〳〵海に親しんで大きくなつたら强い海軍の水兵さんになれるやうな子供のお母さんになりたいと思ひます

◇…[illegible]は海に鍛へるヨイコたち（上下とも）

敵機模型と防空展覽會

空襲必至・知れ敵機

島都で蓋開け、全島で開く

今や大東亞戰は決戰に次ぐ決戰の連續を以て益々壯烈苛烈なる樣相を呈し、敵の執拗なる反攻は、空に海にその間斷なきゲリラ戰術と相俟つて益々熾烈の度を加へ、その[illegible]を誇る敵機が本土及び臺灣を狙ふ[illegible]の實現は[illegible]、[illegible]する完全な防空態勢の確立こそ特に[illegible]の要求である、この際[illegible]の[illegible]下にあつてよく"空の守り"を全うするには民防空を擔當する各地家庭防衛團或は奉公班の認識に待つ所多く、その[illegible]は決定的な要素であり、ここに[illegible]識とならた敵機識別の[illegible]、名稱、性能と共にその形狀、特徴を知り拔くことが必要となる、[illegible]の指令に基き既報の如く[illegible]に依つて[illegible]心のこもる見ごとな敵機の模型が出來上つた、總數約七百點、何れも實物の百分の一大の規格でその中優秀作品が約百三十點あり、この中これが[illegible]より特に[illegible]に提出されたので、之を機會に全島民の防空知識と[illegible]に關する目的で今回臺灣[illegible]、[illegible]、高雄警備府、臺灣總督府の後援、臺灣[illegible]

[illegible]會主催の下に左記日程に依り臺北市始め各州廳所在地に於て「敵機模型と防空展覽會」を開催、前記の敵機模型を主體として多くの參考資料を展示することになつた、同展覽會は來る十八日臺北市公會堂に於て蓋開けとなり同日は午前九時より[illegible]方面の下見が行はれた後同十時より一般に無料公開される、入場時間は毎日午前九時より午後六時迄である、敵機模型は優秀作品並に佳作を除き會場内に於て一部販賣され、その賣上代金は防空[illegible]に[illegible]入れられる、因みに臺北市以外の各州廳所在地に於ては前記軍司令部、高雄警備府、臺灣總督府の外に州廳地方[illegible]の後援の下に開催される

◇臺北市 七月十八日、十九日、廿日、廿一日、廿二日、廿三日、廿四日
◇新竹市 廿八日、廿九日、卅日、卅一日、八月一日
◇臺中市 八月五日、六日、七日、八日、九日
◇臺南市 十四日、十五日、十六日、十七日、十八日
◇高雄市 廿二日、廿三日、廿四日、廿五日、廿六日
◇馬公街 九月一日、二日、三日
◇臺東街 十五日、十六日、十七日
◇花蓮港市 廿二日、廿三日、廿四日

けふ配給

【宜蘭電話】[illegible]

座談會

[illegible]座談會は十三日午後一時から宜蘭市公會堂に開催されるが當日は[illegible]、地元、配給業者、消費者代表、[illegible]等から關係者參集、[illegible]の下に米、味噌、醬油からタイヤ、チューブにいたる十三種の配給物資に關する問題及びその他について研究懇談を行ひ決戰下の統制經濟機構の運營を圓滑ならしめんとする

男性神經衰弱

男性の生理的缺陷、[illegible]、[illegible]其の他これに因る[illegible]の[illegible]代謝を旺盛にし[illegible]する専門の治療法[illegible]

以郵便付說明書 無代進呈

奈良市[illegible]町大明寺 かすが野莊 電話三七四〇番

暑氣にしつぷ デルモライツ

14日マデ 日本ニュース [illegible] 毎日 晝 夜 基隆劇場

[illegible]七月十一日[illegible]

妻サタ儀 永々病氣療養中ノ處養生相不叶 七月十二日午後六時 死去致候間此段 生前ノ辱知諸彦ニ 謹告仕候

追而[illegible]

昭和十八年七月十三日 臺北市[illegible]

夫 白井朝吉
女 白井廣子

15日マデ 國風劇團 [illegible] 榮座

10日ヨリ14日マデ 日本ニュース 7時0分 [illegible] 7時10分 愛國の花 7時43分 平日二回・土日曜三回 東寶國際館

今日の映畫

大世界 台劇 新世界 芳乃館 芳明館 城南映劇 萬華劇場 太平館 第三世界 基隆・蘭陽地區 中央劇場 基隆世界 旭劇場 大和劇場 羅東座 宜蘭座 昇平座 臺北州合同興行會社

[illegible]

國報康健

◉戰時だ働かう

冷症・神經痛・ロイマチス 各種皮膚病・温泉風呂に

ミネラール

臺北州賣藥製造工業組合

組合名義變更謹告

昭和十八年五月四日付臺灣姜黃配給統制要綱發令ニ伴ヒ組合ノ名ヲ左記ノ通リ變更仕候間左樣御了知賜リ度今後一層ノ御指導御支援ノ程幸懇願候

追而[illegible]

先ハ右御挨拶旁々謹告仕候也

記

新名稱 臺灣姜黃組合
舊名稱 臺灣姜黃輸移出組合

昭和十八年七月[illegible]

ポプラ印 イソキンと米糊

高級 事務用 各種
筆記用
高級 文房糊 卓上用
工業用

[illegible]

發賣元 近藤商會

耳鼻咽喉科 性病科 回生醫院

桃園街長美[illegible]

外科 泌尿器科 放射線科 福島外科醫院 【入院設備】

齒科 須永醫院 臺北市[illegible]

齒科 澤熊醫院 臺北市[illegible]

齒科 道野醫院 臺北市[illegible]

デルビーは慢性胃腸藥

國報康健

◉戰時だ働かう

鬼畜米英 戰ひ拔くまで 一億同胞 頑張れ 疲れに、病後に……一杯

滋養飲料（甘味）エキコール

製造元 臺灣[illegible]製品株式會社

代理店 東京堂藥局 臺北市建成町[illegible]

海志へ、若人の熱情

羅東郡六千三百名

高砂青年も全員志願

【羅東】羅東郡下の海の志願兵志願者は郡下役所管内の集計により全員志願し、總計六千三百六十八名を突破し、高砂族志願者百二十一名が一人も残らず志願した一方役所に於ては中等學校卒業者三十餘名、國民學校卒業生約三千名を占めてゐる

熱誠を血書に示す

【臺東】[illegible]

潮州郡下出揃ふ

【潮州】[illegible]

潮州街　八百七十八
萬巒庄　八百四十五
內埔庄　千八百九十二
竹田庄　七百八十五
新埤庄　五百七十八
枋寮庄　九百三十四
枋山庄　二百八十四
高砂族　九百六十四
計　六千九百六十

主人に負けずに勝ち抜く

軍國奥さん方の常會

【新竹】[illegible]

義勇隊採用方を

三青年血書で歎願

【羅東】[illegible]

臺東廳長義勇隊遺族弔問

【臺東】[illegible]

敢闘精神彌よ昂揚

斗六郡民道場　錬成の連續

【斗六】[illegible]

馬公で水泳講習會

【馬公】[illegible]

海の展示會

作品に小國民の意氣示す

【臺南】[illegible]

宜蘭市國語家庭會發會式

【宜蘭】[illegible]

擧る必滅の雄叫び

斗六街米英擊滅大會

【斗六】[illegible]

決戰貯蓄標語募集

【宜蘭】[illegible]

虎尾郡學校職員教育者大會

【虎尾】[illegible]

衣・食・住の決戰調

近く市郡生活部長會議

皇奉新竹支部

【新竹】[illegible]

北門郡畫劇競演會

【佳里】[illegible]

一郡守に倣つて健康報國誓ふ

決戰下員林郡民

【員林】[illegible]

宜蘭市畫劇競演會入選決る

【宜蘭】[illegible]

決戰增產に凱歌

新竹州　入賞三點間違なし

【新竹】[illegible]

新竹桔梗クラブ

本年度第一回錬成會

【新竹電話】[illegible]

磨く謙讓の美德

座談會にきく意見

【新竹】[illegible]

永石さん　[illegible]

田中さん　[illegible]

吉田さん　[illegible]

傳統の狩獵を止め

山の社衆增產に敢鬪

【花蓮港電話】[illegible]

供米に臺東總進軍

山岸廳長、陣頭に督勵

【臺東】[illegible]

"結核豫防に重點"

七月の健民運動實施事項

【嘉義】[illegible]

慰問を兼ねた豐年祭

【臺東】[illegible]

皆泳鍊成、勤勞奉仕

中等校の夏季鍊成計畫

新竹州

【新竹電話】[illegible]

鬪ふ學徒夏の鍊成

暑休返上　奉仕作業に訓練に

【新竹】[illegible]

畫劇競演會

【新營】[illegible]

關陽地方一市三郡の學校職員體育會

【宜蘭】[illegible]

赤衛生便り

東港郡　[illegible]

能高郡　[illegible]

潮州郡　[illegible]

桃園郡　[illegible]

虎尾街　[illegible]

員林郡　[illegible]

赤誠の献金

軍司令部（七月廿七日）

國防献金　[illegible]

恤兵金　[illegible]

アッツ島玉碎將兵の英靈に香華料

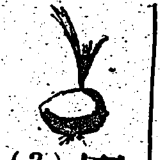
（七月八日）

[illegible]

ラジオ

第一放送　[illegible]

第二放送　[illegible]



椰子

（2）海野十三作　村上松次郎繪

珍客（二）

樹の木立が切れた。

屋上まで蔦に蔽はれた四十一番館が、加太郎の目の前にあらはれた。

日頃見なれたその建物だつたけれども、どういふわけか今日に限つて、その家居館は、彼をいからせ、彼を睨み据ゑ、彼に挑戰してゐるやうに見えた。加太郎はどきつとした。足が自然に動かなくなつた。

（ははあ、何かわけがあるな！）

實はこの加太郎、妙な能力を持つてゐた。それは透視力の一種であつた。たとへば、今何時何分だらうか。それを知りたいと思つたとき、普通ならポケットにはいつてゐる時計をひつぱり出して、その文字盤を見れば、短針と長針の位置が分つて、今は何時何分なりといふことが分るのである。ところが、加太郎は、文字盤を見なくても、短針と長針の位置が分るのであつた。但し、いつでも分るといふわけにはいかないが、今日はからだの調子がたいへんいいぞと思ふやうなときにかぎり、それができるのであつた。つまり、そのやうなとき、ぐつと考へてゐると目の前に時計の文字盤がぼうつと見え出し、そして短針長針の位置がはつきり分るのである。だからこれは透視力の一種であるといへる。

若しこんな藝當ができるなら、加太郎は興行師にやとはれ、見世物の太夫になつた方がいいであらう。しかし毎日といふわけにはいかなかつた。からだの調子のいいときにかぎり、ふしぎにもそれが思ふやうにうまくいくのであつたが、數字的にいふなら、十日に一日くらゐの割合になる。だから見世物の太夫をつとめるには不足すぎる。

加太郎は、この妙な能力を秘密にしてゐる。誰にも話したことがない。そしてそれを時折試してみては、自分ひとりでふしぎがつたり、氣味わるく思つたりしてゐる。誰にも話をしないわけは、もしそんなことをしたら、ひとは彼のことを健全な人間だと思はなくなるだらうと心配してのことであつた。よく奇術師が連れてあるいてゐるさういふことの能力者と稱する人物は、いづれも顔色のよくない肺病患者みたいな者ばかりであつた。さういふ仲間にいれられてはたまらないと、加太郎は常に警戒を怠らなかつたわけだ。

が、彼は自分の透視力をいはゆる靈能力だとか、何だとかいつた迷信またはインチキ科學に類するものとして葬りたくなかつた。それで彼は、これまでにもひそかにそれを科學的に分析しようと努力してきたのであつた。今までに彼が得た結論の一つを紹介すると、文句はまことに平凡なことになるが、"透視力は感覺の一部なり、"といふことだ。

これを前にのべた時計の場合にあてはめていふなれば、加太郎が時計を見ないで、その短針長針の位置をあてるのはふしぎのやうであるが、實はふしぎではない。そのわけはかうだ。實はその前に彼は時計を見てゐるのだ。それから何時間か何十分かたつて、時計は見ないで、さて短針長針の位置はと考へる。そのとき彼はどのくらゐの時間がたつたか、大體推定ができるのだ。いつもわれ〳〵は時間の經過を氣にして暮してゐるので、永い間の經驗により、われわれはいつしか時計なしでも「もうあれから何十分ぐらゐたつた」といふことを推測する力ができてゐるのだ。この力により、時計の針の位置が、現在どのあたりに來るか分るのである。これは極めて科學的であつて、ふしぎでも何でもないといへる。但し、さういふ推測力のできてゐることを常人が知らない場合、常人はこれはふしぎな力だと思ふのである。

ライオン歯磨

香質を倍める　粒子の細かさ均等さ　爽快な香味感觸　歯の汚れのとれ工合

萬媒

校正　[illegible]
醫務　[illegible]
齒科　[illegible]
齒科　[illegible]
齒科　[illegible]
齒科　[illegible]
內勤　[illegible]
記者　[illegible]
記者　[illegible]
事務　[illegible]
女事務員　[illegible]
看護婦　[illegible]
小型　[illegible]
帳場　[illegible]
女給　[illegible]
タイピスト　[illegible]
生徒　[illegible]
アザ　[illegible]
守衛　[illegible]
生活　[illegible]
留守　[illegible]
借家　[illegible]
求家　[illegible]
荷造　[illegible]
電話　[illegible]
住宅　[illegible]
投資　[illegible]
三春　[illegible]
Xレイ　[illegible]
ラジオとレコード　[illegible]
ピアノ　オルガン　[illegible]
蟲下しはマクノール　[illegible]
轉宅　[illegible]
京染　[illegible]
子供　[illegible]
メガネ　[illegible]
斷食　[illegible]
新古　[illegible]
調査　[illegible]

萬年筆　[illegible]

旅館　新北投温泉　[illegible]
旅館　新北投温泉　星乃湯　[illegible]
旅館　新北投温泉　上乃湯　[illegible]
旅館　新北投温泉　長門屋　[illegible]
旅館　新北投温泉　天狗庵　[illegible]
旅館　新北投温泉　吟松閣　[illegible]
旅館　新北投温泉　新樂園　[illegible]
旅館　新北投温泉　逸樂園　[illegible]
旅館　新北投温泉　[illegible]

郵便切手　[illegible]

脳溢血豫防に　ツシキリ

ツシキリは血の道を除き血管を軟げ血行をよくするので、高い血壓も自然に下り、しかも容易に逆戻りしない。從つて頭痛のぼせ、肩こり、めまひ、耳鳴り、不眠症などが治り脳溢血が豫防できる。

中風　[illegible]

大阪市大仁本町　今津化學研究所

づつうにサール

パイロットインキ

無駄を省いた優良品　興亞指導に皇軍慰問に

PILOT INK

㊄ ¥.20

肺病ろくまくに

全快者發表の專門藥

中風藥　十八円
胃腸劑　十八円
治淋劑　十七円五十錢
驅毒劑　十八円

有田音松謹製專門藥

有田ドラッグ

六〇六號と水銀劑

[illegible]

コロイゲン錠

[illegible]

東京市芝區　原澤製藥工業株式會社　原澤水銀研究所

大入滿員御禮！　日延！　15日まで

剣と唄の國風劇團

晝間慰問夜間一般興行

特別出演・狂言「千石舟」2場「源氏と平家」2場

從來の臺灣新劇と違ひ純然たる日本劇で何等遜色なく是非御一覧の上御批判御指導を御願します

榮座

漢方散藥　婦人美宝散

女一生の衛生寶典

女だけの話

このお藥は實にあまりにも有名です。これを服用すると自然に月經が順調になり、頭痛や肩のこりなど、下りものなどの苦しみが症状がなくなります。

1.50　2.80　5.00

夕刊
臺灣日日新報
七月十二日

萬年筆

決戰增產 決戰生活
六百五十萬總蹶起
皇奉の全體會議開く

日一日と激烈化しつつある決戰段階に對應し決戰增產へ、決戰生活へ具體的な方途を樹立しもつて島內決戰體制を强化して戰力增强へ六百五十萬島民の總力を結集せんとする皇民奉公會中央參與、常任參與、奉公委員八十七名出席の下に總督府正廳で開かれた、總督府からは樋口參謀長、伊藤海軍武官および府內各局部長が臨席、皇奉側から長谷川本部長、山本事務總長以下各部長、運營委員等多數が出席

定刻、開會の辭に次で宮城遙拜、國歌奉唱、次で長谷川總裁の訓示あり、[illegible]一同の[illegible]しく米英[illegible]出征將兵の武運長久を祈念して敬虔な一分間の默禱を捧げたのち長谷川總裁の訓示を述べ、戰は今ソロモン群島並にニューギニア方面に於て必死の强襲作戰に出てをり我が陸海空軍は緊密なる協力下に適時適應に敵の企圖を粉碎して居るが、敵もさるもの、特に其の執拗さに至つては比類に稀れなこと申さねばならぬ、この執拗なる攻擊を次ぎつぎに粉碎し決戰につぐ決戰に勝ち拔いて行くためには我方も亦一億國民一丸となつて決死の覺悟で戰力增强に向つて最善の努力を竭すべきである、政府が臨時議會を開き戰力增强と食糧確保の兩重大案件解決に乘り出したのも全くこのためであつて六百五十萬島民は今こそ此の現下の大勢をよく認識し眞に一心一體となつて唯戰ひに勝つために各自の力を最大限に發揮し現實を言ふときでなく增產に決戰生活を實踐せねばならないと參與奉公委員が率先垂範の立場より必勝態勢確立に一層の盡瘁を要望、次で議長選擧、副議長指名を終り、國內諸問題および本島の負荷された使命につき講演、それより軍部口演に移り、[illegible]樋口參謀長は「山本元帥の戰死とアッツ島山崎部隊長の玉碎精神が我々のあらゆる場面においても必要なる所以」を熱誠多の史實をあげて說明し、これが最高度に發揮してこそ死生を超越し、上御一人に歸一し給ふ精神が出現されまた如何なる强敵をも容易に打ち破つて戰ひに勝ち得るのだと强調し、次で伊藤海軍武官は「米英國の軍備狀況」について詳細に說明し、一億國民が聖戰完遂を期するには戰力增强に一段努力をいたすべきである、本島では參與奉公委員各位の指導によつて決戰增產に決戰生活に、島民が協力一致非常な努力をつづけてゐることは感謝に堪へないものである、併し乍ら敵の努力も大きく今後島民の一層の奮起を願つて止まない

と島民がこの激烈な決戰段階に際し更に大勇猛心を振起して總力を結集して戰力增强に邁進すべきであると强く呼びかけ、滿場に多

第四回皇奉中央參與、奉公委員全體會議

言擧げせず只管實踐
長谷川總裁烈々の訓示

七月十二日、參與奉公委員會に於ける總裁告辭

本日茲に第四回中央參與奉公委員會を開き各位と親しく相見ゆるを得ますることは私の最も欣快とする所であります、一昨年十二月八日、宣戰の大詔を拜しましてより既に一年八ヶ月、この間 御稜威の下 皇軍將兵の勇戰奮鬪に依つて、大東亞よりアジア侵略の米英勢力を驅逐し、南方共榮圏の大體を明確ならしめ、以て今後の戰局に對する帝國不敗の態勢が整へられたのであります、然るにその後敵米英は、敗戰につぐ敗戰の屈辱を雪ぐべく立て直し、今や必死になつて反攻を試み、特に敵アメリカは、太平洋作戰に於て主力を注ぎ、大なる犠牲をも顧みず遮二無二點から點へと飛石戰法を續けて居ります、このアメリカは飽くまで世界制覇の野望を懷き何處よりも兇惡にして最强、唯我獨尊の妄想を描いて參つたのでありますから、その面目問題もあり一大戰果を擧げねば、國民に對しても盟邦諸國に對しても、面目が無い立場にあります、そのため去る五月華府で開かれました敵國首腦部の會談により、歐洲大陸に對する作戰と並んで太平洋方面に於ても苛烈なる反擊が決定され、現に各位も御承知の如く、敵は目下ソロモン諸島、並にニューギニア方面に於て必死の進擊作戰に出てをります、我が陸海空軍は、堅確なる協力の下に適時適應に敵の企圖を粉碎して居りますが、敵もさるものであり、特に其の執拗さに至つては、比類稀れなりと申さねばなりません、この執拗なる攻擊を次ぎつぎに粉碎し、決戰につぐ決戰に勝ち拔いて行くためには、我方も亦、一億國民一丸となつて決死の覺悟で戰力增强に向つて最善の努力を致さねばなりません、政府が去月臨時議會を開き、戰力增强と食糧確保の兩重大案件解決に乘り出したのも、全く此のためであります、本島六百五十萬の島民も、現下の此大勢をよく認識し眞に一心一體となつて唯戰ひに勝つために各自の力を最大限に發揮し增產に努めて頂きたいのであります、今日は、いろ〳〵と言擧げして居る時ではなく、口をきいてゐる間にも、手足を動かして働くといふ決戰生活を實地にやつて行かねばなりません

今回臨時議會として開設いたしました二つの案件も、結局、如何にすれば主要食糧の增產を圖ることができるか、どうすれば國民生活の最低限度を確保し得て戰爭遂行に益々拍車をかけ得るかを、お諮りしたわけでありまして、要は本島の決戰增產、決戰生活の實踐部面に關する具體的、積極的なる意見をうかがはんとするに外ありません、どうか各位に於かれては、率先垂範のお立場から今後とも必勝態勢確立のため、一層の御盡瘁を煩つてやみません、以上を以て御挨拶といたします

昭和十八年七月十二日　皇民奉公會總裁　長谷川清

增產協力の實踐方策
各參與奉公委員の答申

皇奉參與並奉公委員會の諮問事項は先づ諮問事項第一「主要食糧品の增產に就て協力すべき實踐方策を諮る」の答申から始まつたが午前中の各參與奉公委員の答申要旨は左記の通り

石井龍猪氏（臺北參與）

[illegible]

輪湖清美氏（新竹委員）

[illegible]

李梅樹氏（臺北委員）

[illegible]

皇軍に感謝電報
動議、滿場一致で可決

諮問事項の答申は先づ第一「主要食糧品の增產に就て協力すべき方策を諮る」から始まつたが、これに先立ち[illegible]皇軍將兵に感謝を捧げるため感謝電報を發信されたい[illegible]動議が出され[illegible]これを可決、議長の指名により[illegible]

石井龍猪氏（臺北參與）を先陣に李梅樹氏（臺北委員）輪湖清美氏（新竹委員）等三氏が決戰增產への方途について[illegible]

勤勞即奉公を確立
齋藤長官の講演要旨

[illegible]

石炭　は[illegible]

輕金屬　は[illegible]

鐵鋼　は昭和十三年[illegible]

船舶　は[illegible]

航空機　は[illegible]

勤勞觀念　の[illegible]

府政施行　の[illegible]

總督官邸で午餐會

[illegible]

落下傘部隊悉く處置
シチリア、敵の企圖阻止

【ローマ十一日發同盟】ステフアニ通信社は十一日夜シチリア島の戰況について次の通り報道してゐる

一、落下傘部隊は悉く處置された

一、海岸線から奥地に前進しようとする反樞軸軍の一切の企圖は今までのところ阻止されてゐる

一、[illegible]

シチリア島反樞軸艦船多數を損傷

【ベルリン十一日發同盟】獨統帥部十一日正午發表

東部戰線　一、東部戰線における大戰鬪は依然些かの衰へも見せず續行されてゐる、獨軍は激戰の後更に占領地域を擴大し赤軍戰車百三十九輛を擊碎した

[illegible]

作戰の時期に齟齬
二重攻勢結局單獨作戰

[illegible]

南歐侵入の　準備を[illegible]

作戰開始の　正確な日時につ[illegible]

スチムソン ロンドン着

【ストックホルム十一日發同盟】ロンドン來電によれば米國陸軍長官スチムソンは重要會談のため十一日空路英國に到着したと言はれる

陣頭指揮、玉碎精神
樋口參謀長の口演要旨

本島に於ける皇奉運動が大東亞戰爭の[illegible]決戰段階に突入すると共に一段の飛躍を遂げ、島內決戰態勢の確立に異常なる寄與と多大の貢獻とをなしつつある[illegible]

興亡を　賭して戰つて居るのである[illegible]

潜勢力　は[illegible]

精神力　と[illegible]

皇國の　[illegible]

指導者　は[illegible]

元冠の　役に於て[illegible]

參禪し、たときに「生死[illegible]

武人の　[illegible]

敵を侮らず奮鬪
伊藤海軍武官口演要旨

[illegible]

一、米海軍軍備の狀況

（一）建艦計畫

[illegible]

（二）艦艇の現狀

[illegible]

（三）海上兵力配備

[illegible]

（四）米航空機整備狀況

[illegible]

（五）人員の狀況

[illegible]

二、英國の軍備狀況

[illegible]

人事

▲池田[illegible]氏　十二日來北

▲谷口[illegible]氏　十二日來北

▲小野田[illegible]氏　十二日來北

▲大庭[illegible]氏　十二日來北

▲林田正治氏（新竹州[illegible]）來北

▲今木[illegible]氏　來北

▲[illegible]氏▲佐藤[illegible]氏　十一日空路來北

腦
光明丸
腦の病、全身神經系統諸症、腦溢血、高血壓、頭重、肩凝、記憶思考精力減退、小心恐怖症、耳鳴、耳鼻病、不眠
定價 二圓 三圓 五圓 七圓 十圓 十五圓
代理店 願成閣

腎臟疾患
危險なる尿毒症、高血壓に推賞せらる
病的蛋白の顯著なる減退は醫家の齊しく驚嘆せらる所にして全國官公立病院指定御採用の榮譽を擔ふ
アルワヂン
日本藥品洋行

神經痛リウマチス劑
アトカルミン錠

腸
全國官公立病院御採用品
乳酸菌製劑
下痢、消化不良、腸カタル、便秘等
總べての腸胃諸疾患、特に乳幼兒の消化不良、綠色便に廣く賞用せらる
エンテロノン
日本藥品洋行

增產へ！
輝く東亞の家庭藥
メンソレータム
寸地寸暇も汗の鐵
怪我なら メンソレータムで すぐ治せ！

製法特許
女性ホルモン欠乏症
强力合性女皮ホルモン
エスチモン
生理不順及び異常、更年期の障碍、頭痛・腰痛・逆上、冷え症・神經衰弱、等に對し、內服で强力・正確な卵胞ホルモン作用を發揮す

NISSEN
急・慢性 化膿症に
ポレオン錠「日染」は內服により血液體組織へ殺菌性、抗菌性を賦與し病源菌を殺滅し治癒せしむるを特徵とする純正化學療法劑なり
扁桃腺炎　中耳炎　齒槽膿瘍　急・慢性淋疾　化膿性婦人科疾患　其他あらゆる化膿性疾患
二〇錠　一〇〇錠
ポレオン錠「日染」
日本染料製造株式會社
稻畑產業株式會社

決戰下・漲る緊張感
決戰緊急動議拍手裡に可決
けふ臺灣一家の總常會

[illegible]

日本人は飛行家向き
望月航空技師と一問一答

[illegible]

泰國宣傳局長ら
上京の途次寄臺

[illegible]

"佛舍利"福岡に安着
木邊遣泰使節團長語る

[illegible]

廿八萬二千餘名
海軍志願大體出揃ふ

[illegible]

若き學徒の滑空訓練 ①
裸體灼く七月の太陽
躍動する筋肉・準備體操

臺北高校の巻

[illegible]

「一齊に半裸」

左右各七人

[illegible]

（つゞく）

ホ七日、學徒海鷲志望の締切

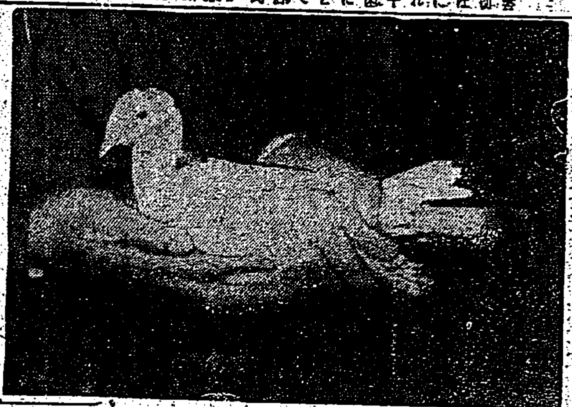
[illegible]

北第三分會の訓練終る

[illegible]

全島市會議員總會
行事日程提出事項決る

[illegible]



決戰だ、鳩君も應召
愛鳩家たち軍へ獻納

[illegible]

司法保護委員會
新竹郡で發會式

[illegible]

消防ポンプを一括受注

[illegible]

落穗積つて五百斤
ヨイコドモによい教育

[illegible]

藤野驛を新設
名鐵局管内

[illegible]

奉國金に遺族へ供物料

[illegible]

一千圓當籤 本島に"二十本以上
彈丸切手は正に寵兒

[illegible]

遊休施設を利用
結核療養所增設

[illegible]

救護看護婦
臺灣でも募集

[illegible]

戰時手當獻金

[illegible]

中和產報團の戰力增強安全强調週間

[illegible]

明朝の番組

[illegible]

後三國志 (147)
（出師の巻）
吉川英治作
矢野橋村畫

高樓彈琴 （四）

[illegible]

[illegible]

安産のために
ワダカルシューム錠
許可番號第十號「安産のために」冊子進呈
大阪市大淀區大仁東一 和田卯助商店

父杉山卯七儀豫而病氣療養中ノ處藥石效無ク七月十二日午後七時二十分死去致候間此段謹告仕候
追而告別式ハ十三日午後四時ヨリ五時マデ自宅ニ於テ相營申候
昭和十八年七月十二日　臺北市本町二ノ六二

（出征中）男　杉山武人
妻　スヱ
親戚　杉山兼輔
親戚代　坂本信一
友人代　池澤次郎
隣組代　松尾布治五郎
本町十二番公會世話役　米田楢文